



JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第31号 (2009年7月31日)

評議委員会開催報告 1

5月13日(水)に「2009年度第1回評議委員会」が開催され、以下の内容で承認されましたのでご報告いたします。

- ◇開催日時: 2009年5月13日(水) 16:00~18:00
- ◇会場: サントリーホール・会議室
- ◇出席者(8名・敬称略):
(会長) 堤 剛
(評議委員) 山崎伸子、倉田澄子、毛利伯郎、石島栄一
(事務局) 飯田芳憲、八反田弘、東 英絵
- ◇議題: 1. 2008年度活動報告
2. 2008年度決算報告
3. 2009年度活動予定
4. 2009年度予算について
5. その他

◆2008年度活動報告

- 総会・評議委員会開催
 - ・総会 5月17日(土)
於: サントリーホール・リハーサル室
 - ・評議委員会 4月13日(日)
於: サントリーホール・会議室
- 会報発行
年2回発行(7月、1月)
- ホームページ運営
 - ・コンサート情報 21件掲載、
 - イベント情報 2件掲載
- チェロサロン開催
年3回開催
 - ・5月25日(土) チェロサロン(毛利伯郎先生)
於: サントリーホールRH室
 - ・9月4日(日) チェロサロン in 広島(秋津智承先生)
於: アステールプラザRH室
 - ・3月15日(日) チェロサロン(河野文昭先生)
- マスタークラス開催
 - ・12月13日(土) ルイス・クラレット先生による
マスタークラス
於: サントリーホール・ブルーローズ

◆2008年度決算報告 別表添付

◆2009年度活動予定

- 総会・評議委員会開催
 - a. 総会 今年度は開催なし

- b. 評議委員会 年2回開催する(4月、10月予定)
- 会報発行
年2回発行予定(31号: 7月、32号: 1月)
- ホームページ運営
- チェロサロン開催
年2回開催予定
- マスタークラス
年1回開催
講師・開催日程・開催地 未定

◆2009年度予算 別表添付

◆その他

会員有志によりイベント開催の提案書が提出。

評議委員会開催報告 2

7月22日(水)に「2009年度第2回評議委員会」が開催され、以下の内容が協議されましたのでご報告いたします。

- ◇開催日時: 2009年7月22日(水) 18:00~19:30
- ◇会場: サントリーホール・会議室
- ◇出席者(8名・敬称略):
(副会長) 堀 了介
(評議委員) 山崎伸子、荻田雅治、石島栄一
(会員) 箕ロー美
(事務局) 飯田芳憲、八反田弘、東 英絵
- ◇議題: 日本チェロ協会新イベント案に関して等

◆会員有志からの新イベント企画に関して協議

- ・毎年開催のイベントとする。
- ・会員の交流とチェロの音楽を広めるものとする。
- ・第1回は「チェロの音楽会」規模で、今年度中に開催、名称は「チェロの日」とする。
- ・数回に1度をチェロコングレスとして開催する。
- ・内容に関して会員にアンケート調査をする。

◆カサドコンクール名義後援決定

- ・第1回と同様に日本チェロ協会名義後援の申請があり承認。

◆マスタークラス・チェロサロンの講師決定

- ・マスタークラス: 2009年10月18日
ピーター・ウィスペルウェイ氏
- ・チェロサロン: 2009年9月26日レオニード・グルチン氏

チェロサロン 開催

3月15日(日) 河野 文昭 先生

2009年3月15日(日)に、サントリーホール・リハーサル室にて河野文昭先生によるチェロサロンを開催いたしました。

今回は「チェロを歌う」というテーマのもとご指導いただきました。

クリニックでは、それぞれの方が選ばれた曲の背景や仕組み(構成)についてお話しされ、効果的な曲の理解の仕方などを、先生の演奏や時には先生が実際に声に出して歌いながらお話し下さり、曲の背景などを理解する上でとても勉強になりました。皆様とても楽しんでお聞きになっていらっしゃいました。

アンサンプルでは、あらかじめ皆様にお配りしていたフランクの「天使のパン」(河野先生編曲)と、当日先生からいただいた河野先生編曲で出版されたばかりのギボンズの「銀色の白鳥」を演奏いたしました。「銀色の白鳥」はご参加の皆様には初見での演奏となりました。河野先生はアンサンプル演奏の際も曲の仕組みについてお



話され、どこのパートにメロディーがあるのか、自分以外のパートの音楽にも耳を傾けるようにご指導いただきました。

通常チェロサロン終了後はチェロを片付けた後にお茶とお菓子とでご歓談、という流れなのですが、今回はアンサンプルが終わって、皆様楽器をお持ちのまま質疑応答の時間となりました。

皆様、最初は少し躊躇されていましたが、随分質問も出て、河野先生もその質問に演奏も含めながら丁寧にお話し下さり、予定の時間を大幅に上回ってチェロサロンが終わりました。チェロを演奏する際の姿勢、シュタルケル先生が仰っていたという”counter pressure”について、力の入れ方・抜き方というようなお話から、バロック時代のビブラートやアーティキュレーションといった演奏上のこと、また楽器や弓に関することといった多岐にわたるお話を、先生の過去に受けられたレッスンのお話なども交えて興味深いお話を沢山いただきました。

演奏以外の様々なことも教えていただき、ご参加の

【収入の部】

日本チェロ協会 2008年度決算報告

2009年3月31日

(単位: 円)

項目	2008年度予算額	2008年度決算額	予実差異	摘要
会費	1,159,000	1,210,000	51,000	法人:340,000(3社) 一般:690,000(115名*6,000) 学生:120,000(40名*3,000) 入会金:24,000(24名*1,000) 未納分36,000
入場券	30,000	78,000	48,000	チェロサロン5月:9名、チェロサロン9月:12名、マスタークラス:45名、チェロサロン3月:12名
雑収入	-	3,591	3,591	受取利息
仮受収入	-	6,000	6,000	
小計	1,189,000	1,297,591	108,591	
前年度繰越金	2,197,017	2,197,017	-	
計	3,386,017	3,494,608	108,591	

【支出の部】

(単位: 円)

項目	2008年度予算額	2008年度決算額	予実差異	摘要
会報作成費	270,000	262,500	-7,500	会報29~30号
通信費	120,000	117,720	-2,280	会員証、会報、イベントちらし等発送
便箋・封筒等の制作費	20,000	21,000	1,000	封筒作成費
総会・評議委員会経費	200,000	70,160	-129,840	評議委員会交通費、総会交通費
事務諸経費	30,000	7,330	-22,670	ちらし用紙、振込手数料等
会員証作成費	3,000	2,479	-521	
事業費	400,000	241,280	-158,720	チェロサロ:会場費等、マスタークラス:講師料、通訳料、著作権料等
ホームページ運営費	300,000	252,000	-48,000	維持費
予備費	100,000	-	-100,000	
小計	1,443,000	974,469	-458,751	
次年度への繰越し	1,943,017	2,520,139	577,122	
計	3,386,017	3,494,608	108,591	

皆様には大変充実した楽しいチェロサロンになったのではないかと思います。

ご参加下さった皆様、ご協力下さった皆様に心より御礼申し上げます。

◇日 時 3月15日(日) 14:00~16:00
(17:30位まで延長)

◇会 場 サントリーホール・リハーサル室

◇主 宰 河野 文昭 先生

◇参加人数 24名：講師1名、会員10名、一般13名
(クリニック参加者4名、アンサンブル参加者14名、聴講のみ9名)



「チェロサロン」受講させていただいて

岩田暢子

「清水の舞台から飛び降りる」心境で、受講申し込みをしました。かのサントリーホールにたどり着いた時には、緊張感(、と、多少のおのぼりさん気分=純関西人なので)で胸がいっぱいでした。すごくよく弾けそうなチェロ弾きのかたがたが続々到着されました。

レッスンが始まりました。私は河野先生の後ろの席で、1番目の方の演奏をお聴きしました。むずかしいバッハの無伴奏6番を、よくさらって弾いておられました。そのあとの先生のアドヴァイスは、全て眼を見張るものでした。「この曲は、狩、を連想させるでしょ、僕の体もそう動いているでしょう？」とおっしゃりながら模範演奏された先生のギャロップしている背中が忘れられません。

次は自分の番、しどろもどろでやっとかサドを弾き終えました。我ながらたいへんなチャレンジャーでしたが、レッスンを自ら受けることにして本当に良かったです。自分なりに考えてきたことにはるかにまさって、先生



【収入の部】 日本チェロ協会 2009年度予算 2009年3月31日 (単位：円)

項 目	2008年度決算額	2009年度予算額	摘 要
会 費	1,210,000	1,120,000	
入 場 券	78,000	50,000	マスタークラス、チェロサロン
雑 収 入	3,591	-	受取利息等
仮 受 収 入	6,000	-	
小 計	1,297,591	1,170,000	
前 年 度 繰 越 金	2,197,017	2,520,139	
計	3,494,608	3,690,139	

【支出の部】 (単位：円)

項 目	2008年度決算額	2009年度予算額	摘 要
会 報 作 成 費	262,500	270,000	131,250円×2回(第30~31号)
通 信 費	117,720	120,000	会員証、会報、イベントちらし等発送
便箋・封筒等の制作費	21,000	21,000	
総会・評議委員会経費	70,160	200,000	評議委員会交通費、総会交通費
事 務 諸 経 費	7,330	20,000	
会 員 証 作 成 費	2,479	3,000	会員証台紙
事 業 費	241,280	400,000	マスタークラス1回:200,000/チェロサロン2~3回:200,000
ホームページ開設運営費	252,000	300,000	メンテナンス21,000円×12ヶ月/コンテンツ作成 50,000円
予 備 費	-	100,000	
小 計	974,469	1,434,000	
次 年 度 へ の 繰 越 金	2,520,139	2,256,139	
計	3,494,608	3,690,139	

の曲のとらえかたは桁ちがいにスケールが大きく豊かで、教えていただいたひとつひとつが目からうろこ、でした。曲のエッセンスから、指づかいの工夫まで、限られた時間でたくさんのことをいただきました。

参加されたお一人お一人、とても熱心で、後のQ&Aコーナーも盛り上がり、先生から次々興味深いお話が

聞けたのはもちろん、質問される方々の熱意にとっても感化され、熱くされ、チェロを弾いていてよかった、これからももっとよく弾けるようになろう、と思わされました。

河野先生、東さんはじめお世話くださったかたがた、受講生の方々、どうもありがとうございました

次回“チェロサロン”開催のお知らせ

2009年9月26日、群馬交響楽団首席奏者のLeonid Gulchin (レオニード・グルチン) 先生を講師にお迎えし、チェロサロンの開催を予定しております。チェロサロンはアマチュアの方を対象としたアットホームな雰囲気で行っています。これまでのチェロサロンに参加されている方も初めての方も、この機会にぜひクリニック (アマチュアの方への公開レッスン) とアンサンブルを併せて楽しみませんか。どんなサロンかちょっと見てみたいという方は、聴講(見学)だけでもどうぞお出かけ下さい。詳細・申込み方法については、ホームページおよび同封のチラシをご覧ください。皆様のお申し込みを心よりお待ちしております。

- ◇日 時：2009年9月26日(土) 14:00~16:00予定
- ◇場 所：サントリーホール・リハーサル室
- ◇主 宰：Leonid Gulchin (レオニード・グルチン) 先生
- ◇入場料：会員—無料 非会員—1,000円
(会員以外の方もお問い合わせのうえお越し下さい)

Pieter Wispelwey (ピーター・ウィスペルウェイ) 氏 チェロ公開マスタークラス 開催のご案内

2009年10月18日にサントリーホール・ブルーローズにて、Pieter Wispelwey(ピーター・ウィスペルウェイ)氏をお招きしてマスタークラスを開催いたします。世界的にご活躍されているウィスペルウェイ氏によるマスタークラスはまたとない貴重な機会となりますので、受講希望の皆さまは奮ってご応募下さい。

詳細・申込み方法については、ホームページおよび同封のチラシをご覧ください。また、より多くの方に聴講していただけますよう、お申し込みをお待ちしております。

- ◇日 時：2009年10月18日(日)
19:00開演(18:40開場) 予定
- ◇場 所：サントリーホール・ブルーローズ
- ◇入場料：会員—無料 非会員—1,000円
(会員以外の方もお問い合わせのうえお越し下さい)



ピーター・ウィスペルウェイ氏

事務局より

○アンケートご協力をお願い

評議委員会の報告にもありますが、新たな企画に向けて会員の皆様のご意見も是非とり入れたく、アンケート調査をさせていただくこととなりました。詳しくは同封のアンケート用紙をご覧ください。ご協力の程を何卒よろしくお願い申し上げます。

編集後記

この度、日本チェロ協会としては初めて会員の皆様にアンケート調査をさせていただくこととなりました。今後のチェロ協会の活動を発展させ、会員の皆様にお楽しみ頂ける充実したものにしていきたいと思っております。お手数かと思いますが、ご協力よろしくお願いいたします。皆様からのご回答を心よりお待ちしております。

日本チェロ協会会報 (JCS NEWS) 第31号
2009年7月31日発行
発行：日本チェロ協会
東京都港区赤坂1-13-1 サントリーホール内
電話 03-3505-1001 FAX 03-3505-1007
発行人：堤 剛
編集：日本チェロ協会事務局
編集協力：リュウカンパニー